

平成29年度

静岡県保育所連合会総会 並びに 保育所長研修会

開催

期日 平成二十九年四月二十八日
会場 静岡市民文化会館

平成二十九年年度静岡県保育所連合会総会は、静岡県健康福祉部こども未来局・鈴木紀美代局長、静岡県社会福祉協議会・松浦康夫常務理事等、多くの来賓の皆様をお迎えして、静岡市民文化会館において開催されました。

最初に後藤弘明会長より「最近保育施設の不適切な運営について報道が続いている。施設運営を含めた法人の透明性の確保やガバナンスの強化といった自助努力は続けていかなければいけない。子ども・子育て支援法にある、子ども達の最善の利益の保障と質の高い保育を提供すると



言う理念により我々は日々の保育と教育を行っている。不祥事はあつてはならない。また、処遇改善についても、関係各局が協力して静岡県版のキャリアパス体制の構築を目指している。現場の皆さんがやりがいやプライドを育てる職場であるように、皆さんの協力の下、これからも県保連として現場の声を届ける努力を続けていきたい。」と力強く挨拶されま

した。その後、鈴木局長、松浦常務理事からお祝いのお言葉をいただきました。

次に総会に移り、議長に静岡市ゆりかご保育園・神野博行園長、副議長に浜松市立三方原保育園・飯田純子園長を選出し、議事に入りました。議案として第一号議案・平成二十八年年度事業報告・決算報告、第二号議案・会則の一部改正、第三号議案・会長指名理事及び監事の承認、第四号議案・平成二十九年



度事業計画・予算案の議案が審議され、承認されました。なお、会則の変更により、静岡県保育所連合会は、本年十月一日より静岡県保育所連合会として新たなスタートを切る事となりました。その後、今年度の新規加盟園が紹介されました。

総会終了後、引き続き保育所長研修会が開催されました。講師には静岡大学防災総合センター客員として活躍されている静岡大学教授、池田恵子先生をお招きし、「震災に備えて―地域との連携とBCP―』とい

うテーマの元に一時間半にわたってお話しをいただきました。近年の大規模災害被害の特徴として、高齢者等の要支援者の避難が困難であること。避難所に居られずに、被災した自宅や車中で生活する家族に対する支援の難しさがある。また、災害時の保育・教育施設においては、人的、物的な制約の中で、業務の何を継続・再開するのか、災害時特有の業務をどう行うのか。職員や利用者の安全の確保と、外部資源や受け入れ体制の構築など、



重要業務の内容や着手時期、完了時期を、災害の発生から三日後までの初期期、一ヶ月までの活動期①、一ヶ月後以降の活動期②の三段階に分けて全職員で共有しておくこと。地域と連携して、どんな動きが出来るのか確認をしておくことが重要だ。とご講義いただきました。災害は、いつ起きるか分からないからこそ、今出来ることは確実に行っておくべきという対応の重要性を再認識させていただいた講演でした。